

SIRIUS DISCLOSURE

掲載し、広く配布してください

2013年8月31日

www.SiriusDisclosure.com

Cosmic Deception: Let the citizen beware! つくられた宇宙からの脅威：国民は狂気の謀略に気付け！

ここに掲載するのは、スティーブン・グリア博士の説得力に富む論説からの抜粋です。

全文は[こちら](#)でお読みください。

[.]

政府、軍、企業の部内者数百人による証言は、次のことを確証している： UFO は実在する； そのうちの一部は我々の‘闇に隠れた’陰の政府のプロジェクトにより建造されたものであり、また一部は地球外文明からやってきたものである； UFO の背後にある技術を - 好機が到来するまで - 抑えておくことができるようにするため、あるグループがこの事実を秘密にしている。この技術は、石油、ガス、原子力、その他の集権化された、破壊性の高いエネルギーシステムの必要性に取って代わることができる。

現在、このエネルギーおよび輸送という 5 兆ドル産業は、高度に集権化され、計量され、高い収益性を有する。この産業は、工業化社会のすべての活動を支えている要素である。この産業こそは、すべての特別利益団体の生みの親である。それは、あなたや私が考えるようなマネー（money）にではなく、地政学的権力に関係している - まさしく現在の世界秩序を維持している、集権化された権力。この邪悪な世界秩序を維持するというただそれだけのために、世界では絶え間のない戦争、大部分の地球住民にとっての終わりなき貧困、地球規模の環境破壊の状態が続いているのである。

そのたくらみは巨大であるが、それよりもさらに大きなたくらみがある： 恐怖による支配。ウェルナー・フォン・ブラウンが、彼の晩年 4 年間の代弁者であったキャロル・ロジン博士に語ったように、ある狂気じみた組織 - 軍事、産業、情報機関、研究所の複合体 - が、冷戦、無法国家、さらに世界的テロ（今日我々はこの段階にいる）を経て、最終的なトランプカードを使おうとしている： つくられた宇宙からの脅威である。

最終的には数兆ドル規模となる、宇宙兵器に向けた支出を正当化するため、世界は宇宙からの

脅威という嘘により騙されるだろう。こうして世界を、恐怖、軍事主義、戦争の中で結束させる。

私は 1992 年以來、少なくとも十数人の信頼できる部内者たちから私に明かされた、この台本を見てきた。もちろん、私も最初は笑い飛ばした。それがあまりにも馬鹿げており、ありそうもないことに思えたからである。ロジン博士は、9/11 が起きる前に彼女の証言を公開プロジェクトに提供した。さらに他の証人たちは、次のことをはっきりと私に語った：深い秘密の中で‘闇の’プロジェクトにより建造され、その統制下に置かれている、UFO のように見える物体群がある；それらは、一部の誘拐や動物切断を含む、ET の仕業に見せかけた出来事を捏造するために使用され、宇宙の生命体を恐れる文化の種を蒔いている；そして世界的テロ後のある時点で、今や明らかになった ARV（複製された異星人の輸送機；Alien Reproduction Vehicles；実際の ET 輸送機を逆行分析して人間が建造した UFO；本論説の筆者による著書‘Disclosure’を読みたい）を利用し、地球攻撃という嘘を捏造する出来事が展開するだろう。

[.]

[. . .]1960 年代に書かれたアイアンマウンテン報告（The Report from Iron Mountain）には、我々が新たな敵を持つことができるように、宇宙の生命体を悪魔化する必要性が述べられている。（恐怖と戦争の中で）人類を結束させることができる地球外の敵。これは、保守的な共和党大統領にして五つ星将軍であったアイゼンハワーが 1961 年に国民に警告した（当時は誰も耳を貸さなかったが. . .）数兆ドルの軍産複合体に対する、究極の救済策であることが判明するだろう。

[.]

世界的テロの時代 - 核兵器使用の危機がつくり出され、ことによると実行され、宇宙における軍備拡張が正当化される - これが終わると、宇宙からやってくる脅威についての情報を一般国民に見せる取り組みが強化される。地球に衝突する小惑星だけではない、さらに別の脅威も。地球外生命体の脅威である。

過去 40 年間、いわゆる UFO 研究は強力なメディア組織と結びついて、‘インデペンデンス・デイ’のような恐ろしい映画、エイリアンによる誘拐や虐待を現代社会の（ある種の集団における）事実として紹介する疑似科学により、ET を悪魔化する度合いを強めてきた。これまで ET とコンタクトした人々がいることを、私は少しも疑っていない；本当の ET コンタクトが、捏造された膨大な嘘の中に含まれていることも、私は確信している。

すなわち、本当の ET 事象はほとんど一般国民には伝えられない。‘組織’が意図的に、捏造された、恐ろしい、本質的によそ者嫌いの報道だけを大衆の目に触れさせ、読まれるようにしているのである。ET を恐れるこの心理的条件付けは、将来の騙しに備えてこれまで数十年間にわたり巧妙に強化されてきた。9/11 が些細に見えるほどの騙しを準備するために。

[.]

明確にしておこう： UFO の秘密，ARV（複製された異星人の輸送機），および関連する技術 - この中には ET に見せかけた出来事，ET による誘拐，その他を捏造することのできる技術を含む - を制御している狂気の秘密プログラムが，公開（Disclosure）を乗っ取り，それをねじ曲げて恐怖の炎に変え，最終的には ET を新たな敵として見せる様々な出来事を展開することを企てている。騙されてはいけない。

[.]

真実を嘘に混ぜ，恐ろしく見える UFO 事件を捏造することにより，この‘計画’は，最終的に新たな，持続可能な，地球外の敵をつくり出すことになる。では，誰がこれに気付くのか？

あなたが，それに気付くのだ。なぜなら，今やあなたはこのことを知っているからだ： 動員された世界最高の科学者たち，数兆ドルの資金，その 60 年間の活動を経て，ある隠れた陰のグループ - 政府内政府であると同時に，我々が知っている政府からは完全に離脱した組織 - は，地球攻撃を開始し，それを ET の仕業のように見せる技術，騙しの技法，およびその能力を身につけている。私は 1997 年に，議会メンバーや他の人々にこの計画についての背景説明を行なうため，一人の人物をワシントンに連れていった。我々のチームの全員がそのときこの人物に会った。彼は，ARV（複製された異星人の輸送機） - ロッキード，ノースロップ，その他により建造され，世界中の秘密の場所に格納されている物体 - を利用してある施設に対する偽の攻撃を行なうときの計画会議に出席していたのである。これにより指導者たちも国民も一様に，宇宙からの脅威が実際にはないのがあると信じ込まされることになる。（彼が証言を行なう前に，彼の‘指導者たち’が彼を連れ去り，説明会が終わるまでバージニア州の秘密の場所に隔離した.）

宇宙兵器はすでに配備されている - 宇宙計画と並行して 1960 年代から行なわれている秘密の宇宙計画の一部として。ARV は建造され，準備が完了している（著書‘Disclosure’の中のマーク・マキャンドリッシュその他による証言の章を読みたい）。宇宙空間におけるホログラフィーを使った騙しの技術は配備され，テストされ，いつでも稼働できる状態にある。[.]

[.]

しかし，このことを知ってほしい： もし宇宙からの脅威があるならば，我々は人間が核兵器を爆発させ，有人旅行による宇宙進出を始めたまさにその時点でそれを知っただろう。制御できない不法な秘密組織による，銀河系の一員としての愚劣かつ無謀な行為にもかかわらず，いまだに我々が地球の自由大気を呼吸している事実が，これらの訪問者たちの自制された平和的意図を示す十分な証言である。脅威はすべて人間がつくり出している。だから，この脅威に対処し，制御し，戦争，破壊，秘密裏に行なわれる操作といった現在の状況を，真の公開（Disclosure）および持続した平和の状態に転換しなければならないのは，我々なのである。

地球上の戦争に代わる宇宙空間における戦争は、進化ではなく宇宙的狂気である。恐怖による世界の結束は、無知による世界の分裂よりも悪い。今や、未来に向けて大きく飛躍するときである。それにより我々は、恐怖と無知から抜け出し、連綿と続く世界平和の時代に移行するのである。それが人間の運命であることを知ってほしい。そしてそれは、我々がそれを選択するや否や、我々のものになるだろう。

スティーブン・M・グリア 医師

論説の全文を人々に知らせてください。

[公開プロジェクト2001年ナショナル・プレス・クラブにおける歴史的記者会見](#)の迫真の証言をお聴きください。これは、当時インターネット上で実況中継された最も視聴率の高いイベントでした。現在でも、そのときと同様に圧倒的迫力を持っています。



訳者註) 本論説の邦訳が、このウェブサイトの論説の部に掲載されています。

[つくられた宇宙からの脅威： 国民は狂気の謀略に気付け](#)

(訳： 廣瀬 保雄)



Please post and circulate widely

August 31, 2013

www.SiriusDisclosure.com

Cosmic Deception: Let the citizen beware!

These are some excerpts from a compelling paper by Dr. Steven Greer
To read the complete version.... click [here](#).

[.....]

The testimony of hundreds of government, military and corporate insiders has established this: That UFOs are real, that some are built by our secret 'black' shadowy government projects and some are from extraterrestrial civilizations, and that a group has kept this secret so that the technology behind the UFO can be withheld - until the right time. This technology can - and eventually will - replace the need for oil, gas, coal, ionizing nuclear power, and other centralized and highly destructive energy systems.

This 5 trillion dollar industry - energy and transportation - is currently highly centralized, metered, and lucrative.[.....] It is not about money as you and I think of it, but about geo-political power - the very centralized power on which the current order in the world runs. The world is kept in a state of roiling wars, endless poverty for most of Earth's denizens and global environmental ruin, just to prop up this evil world order.

As immense as that game is, there is a bigger one: Control through fear. As Wernher von Braun related to [Dr. Carol Rosin](#), his spokesperson for the last 4 years of his life, a maniacal machine - the military, industrial, intelligence, laboratory complex - would go from Cold War, to Rogue Nations, to Global Terrorism (the stage we find ourselves at today), to the ultimate trump card: A hoaxed threat from space.

To justify eventually spending trillions of dollars on space weapons, the world would be deceived about a threat from outer space, thus uniting the world in fear, in militarism, and in war.

Since 1992 I have seen this script unveiled to me by at least a dozen well-placed insiders. [.....] Dr. Rosin gave her testimony to the Disclosure Project before 9/11. And yet others told me explicitly that things that looked like UFOs but that are built and under the control of deeply secretive 'black' projects, were being used to simulate - hoax - ET-appearing events, including some abductions and cattle mutilations, to sow the early seeds of cultural fear regarding life in outer space. And that at some point after global terrorism, events would unfold that would utilize the now-revealed Alien Reproduction Vehicles (ARVs, or reversed-engineered UFOs made by humans by studying actual ET craft - see the book "Disclosure" by the same author) to hoax an attack on Earth.

[.....]

[...] The report from Iron Mountain, NY, written in the 1960s, described the need to demonize life in outer space so we could have a new enemy. An enemy off-planet that could unite humans (in fear and war) and that would prove to be the ultimate prop for the trillion dollar military industrial complex that conservative Republican President and five star general Eisenhower warned us about in 1961 (no one was listening then, either...).

[.....]

After a period of terrorism - a period during which the detonation of nuclear devices will be threatened and possibly actuated, thus justifying expanding the weaponization of space - an effort will ramp up to present the public with information about a threat from outer space. Not just asteroids hitting the Earth, but other threats. An extraterrestrial threat.

Over the past 40 years, UFOlogy, as it is called, combined with a mighty media machine, has increasingly demonized ETs via fearsome movies like "Independence Day", and pseudo-science that presents alien kidnappings and abuse as a fact (in some circles) of modern life. That some humans have had contact with ETs I have no doubt; that the real ET contact has been subsumed in an ocean of hoaxed accounts I am certain.

That is, real ET events are seldom reported out to the public. The Machine ensures that the hoaxed, frightening and intrinsically xenophobic accounts are the ones seen and read by millions. This mental conditioning to fear ET has been subtly reinforced for decades, in preparation for future deceptions. Deceptions that will make 9/11 look trivial.

[.....]

To be clear: the maniacal covert programs controlling UFO secrecy, ARVs and related technologies - including those technologies that can simulate ET events, ET abductions and the like - plan to hijack Disclosure, spin it into the fire of fear, and roll out events that will eventually present ETs as a new enemy. Do not be deceived.

[.....]

By commingling fact with fiction, and by hoaxing UFO events that can look terrifying, the Plan is to eventually create a new, sustainable, off-planet enemy. And who will be the wiser?

You will. Because now you know that after 60 years, trillions of dollars and the best scientific minds in the world pressed into action, a secretive, shadowy group - a government within the government and at once fully outside the government as we know it - has mastered the technologies, the art of deception, and the capability to launch an attack on Earth and make it look like ETs did it. In 1997, I brought a man to Washington to brief members of Congress and others about this plan. Our entire team at the time met this man. He had been present at planning sessions when ARVs - things built by Lockheed, Northrup, et al, and housed in secretive locations around the world - would be used to simulate an attack on certain assets, making leaders and citizens alike believe that there was a threat from space, when there is none. (Before he could testify, his handlers spirited him away to a secret location in Virginia until the briefing was over...) [.....]

Space based weapons are already in place - part of a secret parallel space program that has been operating since the 1960s. ARVs are built and ready to go (see the book "[Disclosure](#)" and the chapter with the testimony of Mark McCandlish, et al). Space holographic deception technologies are in place, tested and ready to fire.[.....]

[.....]

But know this: If there was a threat from outer space, we would have known about it as soon as humans started exploding nuclear weapons and going into space with manned travel. That we are still breathing the free air of Earth, given the galactically stupid and reckless actions of an out of control, illegal, secret group, is abundant testimony to the restraint and peaceful intentions of these visitors. The threat is wholly human. And it is we who must address this threat, rein it in and transform the current situation of war, destruction and secret manipulation to one of true Disclosure and an era of sustained peace.

War in space, to replace war on Earth, is not evolution, but cosmic madness. A

world thus united in fear is worse than one divided by ignorance. It is now time for the great leap into the future, a leap that moves us out of fear and ignorance and into an unbroken era of universal peace. Know that this is our destiny. And it will be ours just as soon as we choose it.

Steven M. Greer M.D.

Share the whole paper:



Listen to the compelling testimony from [The Disclosure Project 2001 National Press Club](#) event. It is as compelling now as it was then when it was the most watched event on the internet at its time.



[Forward this email](#)



Try it FREE today.

This email was sent to m560hiro@flute.ocn.ne.jp by info@siriusdisclosure.com | [Update Profile/Email Address](#) | Instant removal with [SafeUnsubscribe™](#) | [Privacy Policy](#).

CSETI | 1210 Crozet Avenue | Crozet | VA | 22932